

令和元年度 白鳩チルドレンセンター南丘事業報告

1. 概要

①運営方針

- 豊中市は待機児童解消の為、本年度新規増設300人分の受入れ整備を行いました。認定こども園（分園）1園（33名）、民間保育所5園（株式会社4園、社福1園 206名）、小規模保育園2園（18名）合計257名分の施設整備を行ったことで、園児の確保において今まで以上に厳しい環境となりました。
- 今年度は保育教諭不足から0、3歳児は定数受入れスタートとなりました。加えて年度途中での退職者並びに産休・育休職員が発生（保育教諭3名・看護師1名）。急遽紹介業者、派遣業者等あらゆる媒体を通じて何とか人員を確保し、8月から3歳児5名、12月からは0歳児で3名の定数外受入れを行いました。
- 「1日の保育の流れ」を策定して10年以上が経過したことで、法人内で見直しを行うと共に、内容について学びました。学びは園にフィードバックし、全職員で共通理解しました。実際に保育の中で「1日の保育の流れ」を活用することができているのかを振り返り、活用しきれていない部分を確認し改善を進めました。
- 新型コロナウイルス感染症が拡大する中での年度末を迎え、様々な園行事の縮小、自粛を余儀なくされ、細心の感染予防対策に努めました。今後も引き続き命を守るための対策が必要となりますが、コロナをきっかけとして危機管理的なことを整える機会となりました。

②定員 160名（定数外10名） 合計170名
1号認定児 0名 2号認定児103名 3号認定児67名

③事業日数 290日（日曜・祝日及び12/29~1/3・4/28~5/6は休園）

④開園時間 平日・土曜 7:00~19:00

⑤保育時間

★2号・3号認定児

平日

標準時間保育 7:00~18:00
短時間保育 9:00~17:00
延長保育 18:00~19:00

土曜

標準時間保育 7:00~18:00
短時間保育 9:00~17:00
延長保育 18:00~19:00

★1号認定児

平日

早朝保育 7:00~9:00
通常保育 9:00~14:00
預かり保育 14:00~19:00

⑥職員数

園長 1 名、主幹保育教諭 2 名、保育教諭 27 名（うち非常勤保育教諭 2 名・派遣職員 2 名）
非常勤保育士 2 名、看護師 1 名、教育・保育補助 2 名（パート）、園務員 1 名、給食委託事業者からの派遣栄養士 1 名、派遣調理員 3 名、学校医 1 名、学校歯科医 1 名、学校眼科医 1 名、学校耳鼻咽喉科医 1 名、薬剤師 1 名（年間 6 回環境衛生検査）

2. 教育・保育運営

①教育・保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長する事が望ましいと考えます。
- 私たちは子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②教育・保育方針

- 社会福祉法人白鳩会保育メソッド・一日の保育の流れを中心に、子どもたちが主体的に生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として「生きる力」を育む。
- 在園児および地域の子育ての支援を行う。
- 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

③教育・保育目標

- 乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判断、決定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

④クラス編成及び職員配置

0 歳児	ひよこ組	15 名	保育教諭	5 名
1 歳児	りす組	25 名	保育教諭	5 名
2 歳児	うさぎ組	30 名	保育教諭	5 名
3 歳児	くま組	35 名	保育教諭	3 名
4 歳児	ぞう組	39 名	保育教諭	3 名
5 歳児	きりん組	38 名	保育教諭	3 名（うち障害児加配保育教諭 1 名）
合計園児数		182 名	保育教諭	24 名
	一時保育担当保育教諭			1 名
	地域子育て担当保育教諭			2 名（うちパート職員 1 名）
	朝夕延長保育担当教諭			2 名

⑤教育・保育内容

- 認知能力と非認知能力の両面から子どもの発達をとらえる保育を行いました。特に非認知能力が育まれるような保育を目指しましたが、成果の出やすい保育に偏りやすく、豊かな体験ができる保育を行うために、園長、主幹保育教諭やリーダーが中心となって一緒に考えながら保育を行いました。
- 朝の「意味ある運動」や、安田式遊具を使った運動遊びを継続して行ってきましたが、意味のある運動になっていなかったり、マンネリ化していたり、保育者の怠慢とも思える現状が見えてきました。そのため、基本に立ち返る作業を繰り返しながら、内容の見直しを始めました。次年度も引き続き見直しを進めます。
- よく転ぶ子どもや、転んだ時に両手が出にくい子どもへの関わりを大切にしました。毎朝のリレーや坂道ダッシュ、リトミックなどでは体の使い方を丁寧に確認したことで、一人ひとりの体幹が鍛えられ改善がみられました。体幹を意識することは、今後も全園児対象に行っていきます。
- ゆるやかな乳児担当制保育や毎朝の「じゃれつき遊び」、保育教諭の愛情豊かな関わりの中で、子ども達が安定し、落ち着いて過ごす姿が見られました。また、今年度は乳児の手指操作の発達を促す、指先あそびのための手作り玩具を発達に合わせて作成し、保育に取り入れました。
- めだかアイデアマラソンの取り組みでは、細やかな描写や、絵の捉え方が平面から立体へ変化するなど、1年間で絵に大きな変化が見られました。集中力、忍耐力、継続する力が養われ、保護者にも大変満足していただきました。
- 造形指導が定着し始め、子ども達一人ひとりがダイナミックに表現することを楽しみ、違った絵を描くことができるようになりました。子どもの豊かな感性や表現力が育ち始めていることを感じます。
- 今年度の食育活動の1つとして行った菜園活動では、自分達で植えた苗を観察し、生長記録を絵で描いたり、大きく生長するためにはどうすればよいのか図書館に行くなど様々な方法で調べ実践しました。主体的な活動を実現することができ、多くの気づきや学びに繋がりました。
- 「種をまこう」「ヒューマンライツカレンダー」、絵本などを利用しながら、一人ひとりを大切にすることを伝えました。子ども達だけではなく保護者にも発信しながら、優しい心、思いやりの気持ちなどが育つ取り組みを進めました。

⑥家庭との連携

- 生活や遊びの内容、その過程など子どもの成長を可視化し、“ドキュメンテーション”として、保護者に分かりやすく伝えたことで、保護者からは「園での様子がよくわかる」「安心できる」などの意見をいただきました。
- 児童虐待や、無関心な保護者から子どもを守るために、園長、主幹保育教諭、担任が保護者の悩みに耳を傾け、早い段階での保護者支援に努めました。今年度は特に保護者と子どもの両方の支援が必要なケースが1件あり、子ども家庭センターと連携をとりました。今後も連携を図りながら支援を行っていきます。
- 保護者に向けて、おたよりや新入園児説明会、クラス懇談会の場などで、教育・保育理念、方針、目標、事業計画などについて、丁寧に説明を行いました。

- クラス懇談会や個人懇談（各年2回）、就学前個人懇談、保育参観、保育参加（各年1回）を行い、具体的な教育・保育の取り組みについて知らせると共に、保護者との信頼関係を深め連携を図りました。
- 今年度は、4歳児に集中して配慮が必要な子どもがいたため、一人ひとりの子どもの発達過程や配慮の状態を把握し、関係機関（保健センター・豊中市の支援チーム）と連携を密に取り、対応を行いました。
- 「早寝・早起き・あさごはん」の大切さを、おたよりやクラス懇談会を通して保護者に伝え、保護者と共に子どもの生活リズムの改善に取り組みました。また、両親共に仕事の比重が重く、子どもに向き合えない家庭が多いので、親子の関わり的重要性について伝えました。次年度も引き続き家庭保育の大切さを伝えていきます。
- 園長、主幹保育教諭が窓口となり、転園、卒園後の子どもと保護者を見守るための相談窓口を開きました。今年度は2件の相談に対応しました。

⑦人材育成

- 年間を通して「1日の保育の流れ」の法人研修に、主幹保育教諭、各年齢の保育者が参加しました。学んだことを園に持ち帰り、「1日の保育の流れ」を改めて見直し、職員で話し合いながら訂正を行いました。
- 新採用者やパート、派遣職員などが急激に増えたことから、「1日の保育の流れ」を使ってOJTを行いました。新採用者、パート、派遣職員だけではなく、指導を行う保育者自らも保育の見直しや確認になりました。自らの保育技術や保育内容の質を向上させることに繋がりました。
- 保育経験者として新しく職員になった保育者にも、白鳩会の保育メソッドを理解して保育を行ってもらえるように、個別の研修や声掛けを行いました。
- 園長、主幹保育教諭は、0歳児から就学までの学びの連続性を大切にしたい教育、保育が行えるように、日々現場を確認し職員と一緒に考えることを大切にしました。
- おたよりやドキュメンテーションの作成では、保育の場面での気づきや発見を見逃さず、子どもの姿を振り返ることに重点をおきました。また、子どもの姿だけになったり観察文にならないように、主幹保育教諭やリーダーが確認しながら一緒に勉強していきました。
- 保育教諭が自発的に活動について考え、実践することができるように、造形指導の専任講師に指導を仰ぎながら学びました。
- 自己評価（年2回）と、チェックシートを使った教育、保育の振り返り（年1回）を基に園長と面談を行い、個々の課題について考え教育・保育の質の向上に繋がりました。

⑧地域の実態に対応した事業

1. 地域子育て支援事業

- 地域の親子を対象に、「いちごぐみ」を実施しました。年10回、10組の親子が参加しました。参加者の中には、自園への1号認定での入園を希望される方もいましたが、現在のところ豊中市の取り決めで新規の1号認定児の受け入れができず、1号認定児の獲得には繋がりませんでした。豊中市との協議を重ねた結果、再来年からの新規1号認定児の受け入れが可能となりました。

- 「みなみおかであそぼう」（10回実施・延べ61組の親子）や園庭開放（延べ31組の親子）、プール開放（2回実施・延べ16組の親子）を実施しました。
- 校区福祉委員会主催の子育てサロン“ももちゃん”の出張保育（年3回）に出向き、地域の民生児童委員の方と一緒に活動を行いました。
- 「赤ちゃんの駅」として授乳やオムツ交換が可能なスペースを設置し、地域の方にいつでも利用していただけるように施設を開放しました。しかし、園庭開放とは違い授乳やオムツ交換のためだけに来園しづらいのか、情報発信が足りないためか、利用としては3件にとどまりました。今後検証が必要です。

2. その他の事業

- 年2回行われる保幼小連絡会において、教職員が共に学ぶ中で情報の共有を行いました。特に入学する園児が多い南丘小学校区と、東泉丘小学校区の2つの連絡会に参加しました。
- 年長児はそれぞれが入学する予定の小学校に出掛け、1年生との交流会に参加しました。校内見学や授業への参加を体験することで、小学校への期待を高めることができました。
- 地域中学校（豊中市立第9中学校・第15中学校・第17中学校）の地域体験学習CUL（カル）の受け入れや、保育教諭養成校の実習受け入れを行いました。実習に来た大学生が夏のアルバイトに来るなど実習後にも園との関係を繋げることができました。将来の保育教諭確保に繋げることができるように関係を繋いでいきます。
- 地域福祉ネットワークや小学校区連絡会に園長が参加し、北東部の福祉に携わる施設や団体、また民生児童委員と連携を取り、地域の子育てについて情報交換を行いました。
- 特別養護老人ホーム“永寿園”に年長児が出掛け、伝承遊びを一緒に楽しんだり、高齢者の方との交流を深めました。

⑨苦情処理

- 苦情解決責任者を園長、苦情受付担当者を主幹保育教諭として、第三者委員2名の設置を行い、苦情解決に努めました。苦情解決システムについて保護者には、入園ガイドブックや新入園児説明会、クラス懇談会などで周知しました。
- 事務所前に「意見箱」を設置し、保護者からの意見、要望を集約しました。今年度は3件の意見があり、24時間以内に対応し、掲示板へ回答書を貼り出しました。
- 保護者からの苦情や意見は真摯に受け止め、「園内における問題点（苦情処理）事例と経過」にまとめた上で、職員会議やリーダー会、ミーティングの場で全職員で共通認識し、迅速な対応を行いました。

⑩リスクマネジメント

- 停電時に備え、玄関ドアの開閉システムを電動のみではなく、状況に合わせて手動にできる改修工事を行いました。また、豊中市との連絡方法を確認し合い、地震や台風などの自然災害時における外部との連絡手段を整備しました。

- 大津での事故を教訓に、全職員で散歩時の配慮点の見直しを行い、散歩の行先を検討した上で散歩に出掛けました。また、内容を保護者にも伝え安心していただきました。
- 危機管理委員会を中心に、チェックリストの見直しや、園舎、園庭、近隣の公園などの危険箇所を再確認し、危険マップの作成など事故防止のための取り組みを行いました。
- ヒヤリハットがただ提出するだけのものにならず、怪我や事故防止に繋がり有効活用できるように、職員間での話し合いを大切にしながら取り組みを進めました。意識することで、怪我の減少に繋がってきているように感じます。
- 看護師が中心となり、感染症や嘔吐処理の方法、SIDS対応、心肺蘇生法（AEDの使い方）などの研修を、午睡時や職員会議の場で行いました。看護師が産休、育休に入るため、次年度は専門機関に救命救急の研修を依頼するなどしていきます。
- 食中毒やアレルギーマニュアルを全職員で確認し、共通理解を図りました。また、食物アレルギーによる発作が起こった時の緊急薬（エピペン）について全職員で薬の保管場所や使用方法について把握し緊急時に備えました。今年度は救急車を呼んだり、エピペンを使うような発作は起こりませんでした。また、誤飲や誤食もなく、預かっているアレルギー内服薬を使うこともありませんでした。
- 消防署、警察と連携しながら、総合避難訓練（年1回）や救命救急講習（年1回・2日間で2グループに分かれて）、不審者対応講習（年1回）を行いました。

⑪その他

- ホームページをリニューアルしました。
- 昨年の地震による破損のため、玄関タイルの張替えを行いました。
- 厨房の給湯器の修理を行いました。